

電子シラバス管理システムを利用した教育内容の点検

佐野 裕子（明倫短期大学 教務部）

1. 補助事業の取組状況

平成15年度は、昨年度に導入した電子シラバス管理システムを、試験運用した教員と協力してユーティリティとユーザビリティの観点から評価を行い、システムの修正およびカスタマイズを行った。そして、全学を挙げて、学内ローカルエリアネットワーク（LAN）に接続可能な端末機を使用してシラバス情報の確認・編集作業に取り組んだ。

また、電子シラバス閲覧専用端末機を設置するとともに、学内無線LANシステムを導入し、学生も電子シラバスを閲覧できる環境を整備した。

2. 補助事業の成果

・全学を挙げて電子シラバス管理システムを利用するようになり、シラバスのフォーマットの統一化が実現

した。

・全教職員が常に全学科・全科目の最新シラバスの閲覧が可能となったので、教員同士による教授内容の重複防止等、全学的に教科の目標・内容・指導計画などの再点検することが可能となり、さらには前年の反省を次年度以降のシラバスにフィードバックするという発展循環型の点検システムを構築することが実現した。

・本学学生もシラバスを個人所有の端末機からいつでも閲覧できるようになり、学生自身が学習内容の把握につながるだけでなく、その教授内容がシラバスに沿って適正に実施されたか、などの評価を学生から受けることも可能となった。